

授業科目	がん看護学特論Ⅲ	科目概要・形式	2 単位    30 時間	配当年次	1 年    前期
科目責任者	鳴井ひろみ				
担 当 者	鳴井ひろみ、棟方正樹、鎌滝章央、松坂方士、伊東健、真里谷靖、長谷川善枝				
1. 科目のねらい・目標					
がんの分子生物学、遺伝学を含む病態生理学全般について学び、最新の診断、治療について学ぶことで、高度な臨床判断とがん看護実践に必要な専門知識を修得する。					
<目標>					
1) がんの要因・発生・病態生理について、分子生物学、免疫学、遺伝学、疫学の観点から理解し、知識を深めることができる。					
2) がん組織の病理学的・臨床的特徴と症状との関連および診断と治療について理解し、高度な看護実践を展開する上での基礎的知識を修得する。					
2. 授業計画・内容					
1 回               : がん医療の動向    (鳴井)					
1) がん医療の動向とがん看護専門看護師の役割					
2 回～5 回    : がんの分子生物学   (鎌滝)					
1) がんの形態・分類					
2) がんの発生・原因					
3) がん遺伝子とがん抑制遺伝子					
4) 発がんの増殖、がんの進展と転移					
6 回～7 回   : がんと免疫    (伊東)					
1) 腫瘍に対する免疫応答					
2) がんによる免疫抑制					
8 回～9 回   : 腫瘍遺伝学   (長谷川)					
1) 腫瘍遺伝学					
2) 遺伝子診断					
10 回～11 回: がんの臨床医学   (棟方)					
1) 診断 (病理診断、画像診断) と治療					
2) 集学的治療					
12 回～13 回: がんと疫学   (松坂)					
1) がんの疫学					
2) 発生要因とがん予防医療の動向と課題					
14 回           : 放射線被曝と健康への影響   (真里谷)					
15 回           : まとめ       (鳴井)					
3. 教科書、参考書					
講義の中で適宜紹介する。					
4. 成績評価方法					
講義およびゼミへの取り組み状況 70%、レポート 30%で総合的に評価する。					
5. 受講要件					
実践看護学特論Ⅰ・Ⅱ (がん看護) を履修する者、がん看護専門看護師コースの学生は必修					
6. 社会人学生に対する配慮					
相談があれば個別に対応する。					
7. その他					
講義内容について事前に学習して臨むこと。					